

ヌエック News

National
Women's
Education
Center News



2007/4/25
第117号
国立女性教育会館
ISSN 1343-4926



「都幾川の桜並木と会館宿泊棟」

(撮影者：比企デジタル写真クラブ 薄井政夫／撮影場所：埼玉県嵐山町)

も く じ

○理事長あいさつ(開館30周年を機にさらなる飛躍を) …… 2	・ 国別研修アフガニスタン …… 8
○19年度事業計画 …… 3～4	・ 家庭教育・次世代育成地域協働フォーラム
○会館をご利用いただいた方の声 …… 5	in はままつ …… 9
○事業の予告・募集	・ 女性のエンパワーメント国際フォーラム …… 9
・ 家庭教育・次世代育成のための指導者養成セミナー …… 5	・ 女子学生のキャリア教育・就活支援者セミナー …… 10
・ 女性関連施設管理職・団体リーダーのための	○ことばの基礎知識 …… 10
男女共同参画推進研修 …… 5	○調査研究・事業報告・資料の作成
・ 配偶者からの暴力等に関する相談員研修 …… 6	・ ブックレット5「夢をかたちにした女性たち」 …… 11
○事業の実施報告	○情報ネットワーク …… 11
・ NWECプログラム …… 6	○話題になりました …… 11
・ 配偶者からの暴力等に関する相談員研修 …… 7	○お知らせ
・ 配偶者からの暴力被害者支援応用セミナー …… 7	・ 寄附金のお願い …… 12
・ アジア太平洋地域の女性リーダー	・ 利用案内 …… 12
エンパワーメントセミナー …… 7	・ 主な利用団体 …… 12
・ 女性の教育推進セミナーⅡ …… 8	・ 展示コーナー …… 12



開館30周年を機にさらなる飛躍を

国立女性教育会館理事長 神田 道子

今年は第2期中期目標期間の2年目、そして会館創設30周年を迎えます。秋には記念式典を予定しています。

30年という節目を機に、これまでの積み上げの上に、さらに男女共同参画社会実現を目指した女性のエンパワーメント、男性も含めた男女共同参画意識の醸成、男女共同参画の視点に立った家庭教育の振興を図る学習の拠点として充実を図っていきたいと思っております。そのための課題は山積していますが、その中でも今年度、重点をおいて行うべき課題のいくつかを以下に述べます。

まず第1に女性アーカイブの構築です。社会参画を進めた先駆的女性の記録や、女性の学習の歩み、行政、団体等の活動の史・資料を収集、整理し、保存すると同時に、それを広く活用できるシステムをつくることです。大学や女性関連施設等と連携・協力を図り、それらを広く啓発や学習、研究に役立ててもらいたいと考えています。すでにパイロット的に作業を進めていますが、今年度は本格的に取り組む、秋に予定されている30周年記念式典の折には、その一部を披露する予定です。また史・資料の展示も予定しておりまして、男女共同参画の歴史的プロセスを生々の資料で知る機会になるでしょう。アーカイブの構築は単に史・資料の保存にとどまらず、それを通して国内外の関係機関との連携を深め、啓発、学習にそして新たな研究の創出にと多方面にわたる利用価値の高い事業です。提供の前提である史・資料の収集・整理には時間と人手が必要ですが、過去に学び男女共同参画の歩みを、未来へとつなぐためにも、30周年の年に一歩踏み出したことは大きな意味をもっていると思っています。

第2に男女共同参画推進の視点にたったパイロットモデルとしての学習プログラムを開発することです。会館が行っている調査・研究、データベースなど情報を活用するとともに、実践事例による学習方法、参加型学習方法などこれまで会館がつみ上げてきた学習方法をとり入れたプログラムの開発を行うべく、現在取り組みを開始しています。それは学習プログラム開発に関する実践的研究といえますが、単に研究だけでなく、実践性のある有効性の高いプログラムを開発し、提供すると同時に、それらのプログラムを通して人材育成支援を行っていききたいと思っています。それは学習拠点として欠かせない役割です。

第3に国際交流・協力をさらに拡充することです。国際交流事業は開館以来、実績をつんできており、国際セミナー、国別研修などを行ってきていますが、昨年度から新たにアジア太平洋地域の女性行政関係者やNGOのリーダーを対象にエンパワーメントセミナーに着手しました。このセミナーの参加者を核にして、アジア太平洋地域のネットワークづくりをさらに進めたいと考えています。

機関間の連携協力としては、昨年度韓国の両性平等教育振興院、韓国女性開発院との2機関とは、正式の協定を結び、相互交流を行っていますが、さらに海外の他機関、研究者や行政関係者、NGO等との交流に積極的に取り組み、情報交換や人的交流を行って参ります。

第4にこれは基本的なことですが、会館が拠点であるからには、孤立してははその役割を果たすことはできません。男女共同参画の学習推進拠点として、女性団体、女性関連施設や男女共同参画行政などと密接な関係をもち、相互に連携・協力するのは当然ですが、さらに、その範囲を企業、大学、高校等へと広げていく必要があり、その方向で取組んでいこうと思っています。

第5に会館利用者の増加を図ることです。昨年度は利用団体数、人数とも前年度を上回る実績をあげることができましたが、目標との間にはまだ開きがあり、職員一同、昨年度に引きつづき最大限の努力をして参ります。利用した人からは好評ですので、広報に力を入れる必要があり、この30周年は多くの人に会館を知ってもらい、利用してもらう機会にしたいと考えています。

職員一同、きびしいなかで全力をつくす所存です。皆様のご協力をお願い申し上げます。



独立行政法人

平成19年度 国立女性教育会館 事業計画

1 基幹的な女性教育指導者等の資質・能力の向上

事業名	対象・募集人員	時期等	事業内容
(1) 女性関連施設・団体リーダーのための男女共同参画推進研修 【女性関連施設管理職コース】 【団体リーダーコース】	女性関連施設の管理職及び女性団体リーダー 100名	平成19年 6月13日(木) ～15日(金) 2泊3日	地域の男女共同参画を積極的に推進するリーダーとして必要な専門的知識・マネジメント能力、ネットワークの活用等、高度で専門的な研修を行う。

事業名	研究協力者等	達成目標・内容	備考
(2) 女性関連施設に関する調査研究	女性教育・生涯学習分野の研究者、女性関連施設関係者等	女性関連施設が男女共同参画社会の形成および女性のエンパワーメントに果たしている役割を明らかにし、その社会的影響について評価するために、女性関連施設の事業、運営体制等について調査研究を行う。	平成18年度からの3年計画の2年次

2 男女共同参画・女性教育・家庭教育に関する喫緊の課題に係る学習プログラム等の開発・普及

事業名	研究協力者等	達成目標・内容	備考
(3) 女性のキャリア形成支援のためのプログラムに関する調査研究	女性教育・生涯学習・女性労働・キャリア教育分野の研究者、実務家等	女性の生涯にわたるキャリア形成を支援するため、再チャレンジを含む女性のキャリア支援に必要な学習内容・学習方法を調査研究する。職業活動、社会活動、生涯学習等あらゆる社会経験を通じて形成される「多様なキャリア」を効果的に支援する方策を検討するため、地域の社会活動を通じたキャリア形成の在り方に焦点を当て、支援プログラムを開発する。	平成18年度からの2年計画の2年次
(4) 家庭教育・次世代育成支援のためのプログラムに関する調査研究	家庭教育関連分野の研究者、次世代育成支援に関わる研究者、行政担当者等	男女共同参画の視点に立った家庭教育・次世代育成支援を進めるために必要な学習内容・学習方法を調査研究し、男女共同参画の視点による支援プログラムを開発する。	平成18年度からの2年計画の2年次

事業名	対象・募集人員	時期等	事業内容
(5) 家庭教育・次世代育成支援指導者研修 【会館研修】 「家庭教育・次世代育成のための指導者養成セミナー」 【地域研修】 「家庭教育・次世代育成地域協働フォーラム」	【会館研修】1回 ・都道府県・指定都市の家庭教育・子育て支援担当職員 ・子育てサポーターのリーダーや子育てネットワークのリーダー・企業の社会貢献・次世代育成支援担当者等 100名 【地域研修】1回 ・市町村の家庭教育・子育て支援担当者 ・子育てサポーターや子育てネットワークのリーダー・子育てサークルのリーダー等 100名	年間2回 【会館研修】 平成19年 5月18日(金) ～19日(土) 1泊2日 【地域研修】 平成19年 10月～12月	急速な少子化の進行並びに家庭及び地域を取り巻く環境の変化を背景に、次代の社会を担う子どもが健やかに生まれ、かつ、育成される環境の整備のため、男女共同参画の視点から家庭教育・次世代育成支援に必要な専門的・実践的研修を行う。
(6) 女性のキャリア形成支援推進研修	・都道府県・指定都市の女性関連施設職員 ・女性団体・グループ・NPO等リーダー 60名	平成19年 10月10日(木) ～12日(金) 2泊3日	活力ある社会を創造するためには、女性の個性や能力を十分発揮することが求められている。 女性一人一人が置かれた状況に応じて、柔軟にキャリア設計したり学習したりできるように、女性関連施設におけるプログラムの立案、サポートシステムの構築等、キャリア形成支援に関する専門的・実践的研修を行う。
(7) 配偶者からの暴力等に関する相談員研修	公私立の女性会館・女性センター等の女性関連施設の相談員 60名	平成19年 7月18日(木) ～20日(金) 2泊3日	多様化・複雑化している相談内容に対応できる相談の質の向上を目指し、今日的課題の解決に必要なより専門的な知識と高度な技能の習得を図る。
(8) 男女共同参画のための研究と実践の交流推進フォーラム	・男女共同参画・女性教育・家庭教育等の行政担当者、女性関連施設職員、女性団体等のリーダー、研究者等 600名	平成19年 8月31日(金) ～9月2日(日) 2泊3日	男女共同参画社会の形成をめざし、女性のエンパワーメントに資する活動を支えるため、これらの実践を踏まえた研究成果や専門性の高い情報の提供・交換を行うとともに国内外のネットワークづくりをすすめる。

3 男女共同参画・女性教育・家庭教育に関する調査研究の成果や資料・情報の提供等

名称	掲載内容
(9) 女性情報ポータルサイトの整備充実	男女共同参画社会形成に資する女性、家庭・家族関連のポータルサイトのコンテンツ及び会館が構築・提供してきた各種データベース類を更新し、情報提供の充実を図る。
(10) 多様なキャリア形成を支援するための情報提供システムの整備充実	女性がさまざまな分野へチャレンジし社会の活力となるため、キャリア設計の参考となる事例（ロールモデル）と、キャリア形成に役立つ様々な学習情報を提供するシステムの整備、充実を図る。

事業名	研究協力者等	達成目標・内容	備考
(11) 男女共同参画に関する統計の調査研究	女性学、ジェンダー研究、統計学分野の研究者等	男女共同参画社会の形成に資する女性と男性に関する統計データの内容、提供の方法等について研究する。	平成18年度からの3年計画の2年次

事業名	事業内容
(12) 女性アーカイブの構築	女性関係資料・史料を収集・整理し、「女性デジタルアーカイブシステム」と女性アーカイブセンターの一部公開を行う。
(13) 女性及び家族に関する情報資料の収集・整理・提供	男女共同参画及び女性・家庭・家族に関する情報・資料を収集・整理し、利用に供する。
(14) レファレンス・サービス及び文献複写サービス	来館者又は電話・文書・Eメール等による問い合わせに対して情報提供を行う。また、女性教育情報センター所蔵資料の複写サービスを提供する。
(15) 女性及び家族に関する図書資料の展示	会館が所蔵する資料について、四半期ごとのテーマ展示及び特別展示を行い、女性及び家族の分野の理解を深める。

4 男女共同参画及び女性教育に関する国際貢献、連携協力の推進

事業名	対象・募集人員	時期等	事業内容	備考
(16) アジア太平洋地域の女性リーダーエンパワーメントセミナー	行政担当者・NGOの指導者（日本を含む） 20名	平成20年 1月10日(木) ～19日(土) 10日間	開発途上国等において研修成果を普及していく立場にある女性行政・教育担当者、NGOのリーダーを対象に、女性の能力開発・人材育成等の課題を取り上げ参加型の実践的なセミナーを行う。	
(17) 女性の教育推進セミナーⅡ	アジア、アフリカ、中近東等の開発途上国で、女性の教育問題に携わっている担当者 12名	平成20年 1月31日(木) ～2月22日(金)	開発途上国で、女性の教育問題に携わっている担当者を対象に、各国の課題を認識し、その解決に必要な知識や手法を取得し、基礎教育の男女格差解消を考慮した教育推進プログラム計画を立案できる能力を向上させることを目的とする参加型の実践的な研修を行う。	(JICA委託事業) 平成18年度からの5年計画の2年度
(18) 国別研修	カンボジア女性省職員等 4名	平成19年 5月～6月 4週間	カンボジア女性省等省庁職員を対象に、女性と男性に関する統計の知識と技能の習得を通じて政策立案・実施・モニタリング能力を向上させることを目的とする参加型の実践的な研修を行う。	(JICA委託事業) 平成16年度からの4年計画の4年次
(19) 女性のエンパワーメント国際フォーラム 〔30周年記念事業〕	女性の教育・学習に関心のある国内外の男女 100名	平成19年 11月20日(火) ～21日(水) 1泊2日	女性の人権、女性の能力開発・人材育成等地球規模の課題をテーマに海外の専門家を招へいし、アジア太平洋地域の課題分析を行い、海外の研究者や行政関係者・女性団体等指導者との交流を深めるとともに、ネットワークづくりを進める。	

事業名	研究協力者等	達成目標・内容	備考
(20) 人身取引の多面的防止・教育・啓発に関する調査研究	女性教育・社会教育、法律学、情報学、社会政策、国際協力などを専門とする研究者・実務家	人身取引の実態を解明し、課題の解決に向けて防止・教育・啓発のあり方に焦点をあてプログラムを開発に資する調査研究を行う。	【新規】 平成19年度からの2年計画の1年次

5 国立女性教育会館開館30周年記念事業等

事 業 名		期 日	
国立女性教育会館・開館30周年記念式典		平成19年11月20日(火)	
事 業 名	対 象 ・ 募 集 人 員	時 期 等	事 業 内 容
【再掲】 女性のエンパワーメント国際 フォーラム 〔30周年記念事業〕	女性の教育・学習に関心のある国 内外の男女 100名	平成19年 11月20日(火) ～21日(水) 1泊2日	女性の人権、女性の能力開発・人材育成等地球規模の課題をテーマに 海外の専門家を招へいし、アジア太平洋地域の課題分析を行い、海外の 研究者や行政関係者・女性団体等指導者との交流を深めるとともに、 ネットワークづくりを進める。

資料名	掲載内容	発行
(21) 国立女性教育会館開館30周年記念誌	国立女性教育会館の開館30周年を記念し、会館の30年のあゆみを記念誌として発行する。	平成19年11月

6 その他

事業名	事業内容
(22) 学習支援事業	国立女性教育会館を利用する団体・グループ、個人が企画・実施するプログラムについて相談を受ける。また、男女共同参画に関するプログラムを国立女性教育会館が提供・実施することにより、利用者へのサービス及び利用の拡大を図る。
(23) 社会教育実習生等受入事業	大学で社会教育実習を受講する学生等を対象として、主催事業の補助業務等の体験学習を通じて、女性教育の現状及び女性教育施設の役割について学習することを目的とする。 期間：主催事業期間を含む1週間 受入人数：若干名
(24) 広報・情報発信事業	NWEC Newsletter 国立女性教育会館の活動状況及び今日の日本の女性の現状等について、英文で海外に情報発信する。 主な情報提供先：海外の女性問題担当行政機関、女性センター及び女性団体、国際機関等 情報発信：随時 ヌエック News 会館の事業報告、事業の実施報告、調査研究・事業報告・資料作成、ことばの基礎知識、利用者の声、会館関連記事等の情報を提供する。 配布先：行政機関、女性関連施設、女性団体、大学、マスコミ、一般等 発行：年4回（平成19年4月、7月、10月、平成20年1月）

資料名	掲載内容、配布先	発行
(25) 「国立女性教育会館研究ジャーナル」 (第11号)	女性教育、家庭教育、女性学、女性情報に関する会館の調査研究を国内外に発表するとともに、公募論文を選考して掲載する。 テーマ「子育て・働き方の国際比較（仮題）」	年1回 平成19年8月
(26) 「国立女性教育会館（ヌエック）主催事業実施報告書」	18年度内に実施した研修・交流・調査研究・情報事業等の実施概要。 配布先：各都道府県教育委員会、女性関連施設及び女性団体その他の関係機関等	年1回

お知らせ

本年度、国立女性教育会館は、開館30周年を迎え、11月には記念式典及び国際フォーラムを開催する予定です。詳細については改めてお知らせします。

会館をご利用いただいた方の声

女子栄養大学茶道部（3/24～25 ご利用）

15、6年前から毎年、3月と9月の年2回利用しています。キャンパスが同じ東武東上線沿線の坂戸ということもあって、春と夏の長期休み中に40名程の学生が茶道の合宿を行うには、響書院はとても便利です。

響書院は正式な書院づくりで、お道具も充実していて非常に広く、足どりや床拝見の練習ができていいですね。

予約をする際も、宿泊の場合は1年前からできますので、合宿の準備に十分時間をかけられますし、使用料も安いので、学生にはとても使いやすいと思います。



▲ 響書院でお茶のお稽古

樋口妹花さん（3/26～27 ご利用）

私は現在、日本女子体育大学大学院に在籍していて、今回は修士論文の資料集めのため、女性教育情報センターを利用しました。

国立女性教育会館については、大学院に入った際指導教官から聞き、存在を知りました。

自分の研究テーマである「女性のリプロダクティブヘルス・ライツ」に関する資料やその他女性に関する資料が、国内に限らず、他の国々まで揃っているのも、何度か利用しています。一度来館したら、宿泊をして、どっさり資料を集めて帰ります。

宿泊すると、図書や資料を宿泊室でじっくりと閲覧できますし、環境もとても静かで集中できるのでいいですね。欲を言えば、女性教育情報センターの開室時間が、せめて宿泊者にはもう少し長いとありがたいです。



▲ 樋口妹花さん

事業予告・募集

家庭教育・次世代育成のための指導者養成セミナー（5月18日～19日）

本事業は、国の喫緊の課題である「家庭教育・次世代育成支援の推進」「少子化対策」に対応し、社会全体で家庭教育・次世代育成を支援する方策について、専門的・実践的な研修を通してその知識と技能を高めることを目的として実施するものです。

現代の家庭教育・子育て支援の現状と課題を把握するとともに、全国の先進的な実践の報告や事業検討・情報交換などにより、子育ての新たな支え合いと連帯を推進する家庭教育・次世代育成の指導者の育成を図ります。

○主 題 「アウトリーチによる新たな支え合いと連帯ー『待つ』から『届ける』へー」

○期 日 5月18日(金)～19日(土) 1泊2日

○会 場 国立女性教育会館

○対 象 家庭教育関係行政担当者、子育て支援関係行政担当者、男女共同参画関係行政担当者、子育てネットワーク・子育てサポーター等のリーダー、企業の次世代育成支援・社会貢献活動担当者、女性関連施設職員・社会教育施設職員等 100名

詳細は、ホームページ<http://www.nwec.jp/>をご覧ください。か、事業課までお問い合わせください。

女性関連施設管理職・団体リーダーのための 男女共同参画推進研修（6月13日～15日）

男女共同参画の形成に向けた女性関連施設・団体の役割を認識し、地域の男女共同参画を積極的に推進するリーダーとして必要な知識、マネジメント能力、ネットワークの活用等を身につけるために、高度で専門的な研修を実施します。

○期 日 6月13日(水)～15日(金) 2泊3日

○会 場 国立女性教育会館

○対 象 ①全国の女性関連施設の所長、館長等の管理職の方（在職年数は問いません）50名
②地域で男女共同参画を推進する団体・グループのリーダーの方50名

詳細は、ホームページ<http://www.nwec.jp/>をご覧ください。か、事業課までお問い合わせください。

事業予告・募集

配偶者からの暴力等に関する相談員研修(7月18日～20日)

この研修は、多様化・複雑化している相談内容に対応できる相談員の質の向上を目指し、今日的課題の解決に必要なより専門的な知識と高度な技能の習得を図ることを目的として、全国の女性関連施設の相談員を対象に実施するものです。

会館での研修成果を生かし、女性関連施設の相談員として、より適切な対応ができるよう、昨年度の1月実施から本年度は6か月開催を早めて実施することとしました。

○期 日 7月18日(水)～20日(金) 2泊3日

○会 場 国立女性教育会館

○対 象 公私立女性会館・女性センター等の女性関連施設の相談員 60名

詳細は、ホームページ<http://www.nwec.jp/>をご覧ください。事業課までお問い合わせください。

事業の実施報告

NWECプログラム

『時間貴族』の生き方



▲ 定年後、落語サークルで活躍する平井幸雄講師

2007年を迎えて最初のNWECプログラムは、1月19日(金)から20日(土)の1泊2日で、『時間貴族』の生き方を実施しました。

長寿社会におけるシニア世代は、ゆとりのできたこれからの時間をどう生きるか、をテーマに取り上げました。まず、現役時代は大手企業の第一線で活躍し、その後も教育や市民運動の場で活動されてきた石原一子(いちこ)氏が基調講演を行いました。ひきつづき、企業を定年退職後に国際交流ボランティアや趣味のサークルを基にネットワークを広げている男性たちや、環境問題・国際貢献に地域で取り組んでいる女性たちの事例紹介を行いました。参加は62名(うち男性6名)でした。

「食と健康」



▲ 講義をする香川靖雄副学長

3月9日(金)から10日(土)の1泊2日、女子栄養大学との共催でNWECプログラム「食と健康」を実施しました。健康への関心が高まり、様々な情報が流れている現在ですが、科学的な裏付けのある正しい知識が必要とされているため、会館と連携協定を締結している女子栄養大学から全面的な支援をいただきました。

講義は、香川靖雄女子栄養大学教授・副学長の「メタボリックシンドロームの基礎知識」をはじめ、「これからの食生活：病を防ぎ、健康を維持するためのメニューとは」「食材の賢い選び方」「高齢化社会の快適キッチンとは？」等々、食・栄養・健康に関する幅広い内容を取り上げました。参加は48名(うち男性8名)でした。

「里山の自然を体感しよう」



▲ 里山から伐採した原木に穴をあけて、ヒラタケの植菌を体験

3月20日(火)から21日(水・祝日)の1泊2日で、NWECプログラム「里山の自然を体感しよう」を実施しました。

今回は、会館に隣接する「菅谷館跡」や「蝶の里自然公園」を歩き、自然環境について体験しながら考える内容としました。指導は、嵐山町を拠点に自然保護活動をしている、NPO法人「自然の会 オオムラサキ」の代表関根浩史(ひろふみ)氏とそのメンバーです。

第1日目は、里山とは何か、里山と人間の関わりおよび里山の生態系についての講義、2日目は、素晴らしい晴天のもとで里山に生きる植物や生き物の観察を行い、自然の力と恵み、命を育む大切さを体感しました。参加は小学生4名を含む18名でした。

事業の実施報告

配偶者からの暴力等に関する相談員研修

1月24日～26日の2泊3日で、女性関連施設の相談員を対象に「配偶者からの暴力等に関する相談員研修」を実施しました。全国の女性関連施設で相談を担当している職員83名の参加をいただきました。

この研修は、今年度より、平成15年度から国立女性教育会館の主催事業として実施してきました「女性関連施設相談担当者実務研修」の名称を変えて実施したもので、女性関連施設の相談業務担当者に対する専門的・実践的な研修を行い、女性関連施設相談員としての資質・能力の向上をねらいとしています。近年は特に、相談内容として「配偶者からの暴力等に関する」等に関する相談件数が非常に多くなっている状況を踏まえ、名称を変え、「配偶者からの暴力に関する相談」を中心としたプログラム構成としました。

「女性関連施設における相談事業の意義と役割」や「関連緒法・通達」「相談の受け方」等、基本的な知識と具体的な相談のスキルを学びました。また、シンポジウム「地域の社会資源の活用とネットワーク」や「スーパービジョンの実際」を通して、専門的な相談の技法や留意点について理解を深めました。

配偶者からの暴力被害者支援応用セミナー

1月24日～25日の1泊3日で、内閣府受託事業として、全国の配偶者暴力相談支援センターや男女共同参画センター等で相談を行う職員を対象に、配偶者からの暴力に関する様々な事象への的確な対応や配慮事項等についての専門的・実践的な知識と技能を身に付ける「配偶者からの暴力被害者支援応用セミナー」を開催しました。応用セミナーⅠ（平成18年9月20日・21日実施、参加者33名）と今回のⅡ（参加者66名）をあわせると、99名の相談担当者が、講義や分科会での討議を通して、「PTSD」や「アディクション」「児童虐待」等の配偶者からの暴力が抱える今日的な課題や関連諸法の運用のあり方について理解を深めました。また、事例検討を通じたインテーク・スーパービジョンの方法、適切な支援を行っていくための関連社会資源の活用・連携のポイント等、具体的な相談の技法や配慮すべき事柄を学び、今後の配偶者等からの暴力被害者支援の充実が期待される研修となりました。

アジア太平洋地域の女性リーダーエンパワーメントセミナー

2月1日(木)から11日(日)、男女共同参画社会の実現に向けて指導的立場にある開発途上国等の女性行政・教育担当者、NGOのリーダーを対象にセミナーを開催、アジア太平洋地域8か国から女性のエンパワーメントの視点で活動する19名の女性が参加しました。前半は、内閣府男女共同参画局や農林水産省等関係省庁の訪問や(株)資生堂の育児支援策や女性の起業を支援するWWBジャパンや途上国支援を行うWE21の視察、男女共同参画センター横浜を訪問し、そこで活動するNPO法人スマイルボディーネットワークやエンパワメントかながわの女性団体リーダーとの意見交換などを行いました。また、国際的ネットワーク形成を目的に、国際婦人年連絡会・財団法人市川房江記念会や全国地域婦人団体連絡協議会および全国女性会館協議会の話伺いました。



▲ポスターを使った
発表セッション

後半は会館（NVEC）に場所を移し、リーダースキルのワークショップを実施し、各国で共通する喫緊の課題について、行動計画を作成するために議論を重ねました。最終日は「女性と仕事の未来館」でシンポジウムを開催し、人身取引や売買春問題、教育や政策におけるジェンダーの主流化の問題をテーマに、今後の方策と課題について活発に議論を行いました。参加者たちは、将来に向けて協働しながら、女性のエンパワーメントを促進し、男女が共に可能性を実現できる環境を整え、各自の多様性を認め協力し合い取組みをすすめていくことを約束しました。

事業の実施報告

女性の教育推進セミナーⅡ



▲ 参加した研修員（前中央は神田理事長）

2月1日(休)から2月23日(金)の約1か月にわたり、「女性の教育推進セミナーⅡ」を実施しました。このセミナーは、国際協力機構（JICA）から委託を受け、アジア、アフリカ、中近東等の開発途上国で女性の教育問題に携わっている方々を対象に、平成13年度から継続して実施しているものです。18年度は、アフガニスタン、バングラデシュ、マラウィ、ネパールから各2名、ケニア、コンゴ、マリ、イエメン、ジンバブエから各1名の計9か国、13名の研修員を迎えました。

研修員たちは、日本の教育制度や女子教育に関する講義、小中学校、女子中学校・高等学校への訪問、カントリーレポートの発表、アクションプラン（行動計画）の作成などを通じて、開発途上国における教育へのアクセスや教育達成度における男女格差是正のための政策の立案、実施に必要な知識や考え方を学びました。

また、会館ボランティアの協力により、お茶会、着付けを体験することができ、研修員にとって日本の伝統文化に接する良い機会となりました。

国別研修アフガニスタン（JICA委託研修）



▲ 長年アフガニスタンへの医療支援を続けている喜多悦子先生（後列左から3人目）と研修員

アフガニスタン女性課題省を始め、農業灌漑省、外務省など計7省庁から8人の研修員を迎え、若手行政官が男女共同参画の視点の重要性を学び基礎行政能力を磨くことを目的に、2月6日～22日まで3週間の日程で研修を実施しました。

本研修は、必ずしも英語が堪能でない行政官でも日本の知見を十分に学べるよう、母国語であるダリ語の通訳を介して行われたところに特徴があります。また、昨年度まで17年間にわたって会館で実施してきた国際情報処理研修および20年間調査研究を継続している男女共同参画統計の蓄積を活かしてプログラムを企画し、所蔵する女性情報を活用しつつ研修を進めました。

研修員は、情報の収集・分析・発信をテーマに学んだ後、研修成果物として女性情報を発信するためのポスターを作成し、また、研修経過をパワーポイントにまとめました。JICA東京での講義から始まり、地方視察の愛媛県、その後NVECとWith Youさいたまでのポスター作成実習を経て、JICA東京に戻る、というかなり厳しい日程でしたが、若さと熱意でこの厳しい研修を乗り越えた研修員達の今後の活躍が期待されます。

事業の実施報告

家庭教育・次世代育成地域協働フォーラム in はままつ

2月17日(土)、18日(日)の2日間で、国立女性教育会館と特定非営利活動法人はままつ子育てネットワークぴっぴとの主催で、静岡県浜松市において、「家庭教育・次世代育成地域協働フォーラム in はままつ」を開催し、浜松市を中心にその近隣の市町村から151名の参加をいただきました。

このフォーラムは、国立女性教育会館が平成18年5月に実施した「家庭教育・次世代育成支援のための指導者養成セミナー」の研修成果を、セミナー参加者が地域へ普及・還元する機会として、開催したものです。5月に実施したセミナーの参加者であったはままつ子育てネットワークぴっぴを中心に実行委員会を組織し、家庭教育・次世代育成についての国の動向や浜松市の取り組み等の施策説明の後、社会全体で次世代を育成する機運の醸成のため、家庭や地域、団体、行政、企業等に求められる取り組みとそのねらいをどのように共有し、連携・連帯を促進していけばよいか、4つの分科会「子どもの生活リズムの向上」「子どもの安全・安心の確保」「子育て支援システムの総合化」「仕事と子育ての両立支援」に分かれて、事例をもとに討議を行いました。

会場となった浜松大学をはじめ、女性団体、NPO、教育行政、男女共同参画行政、厚生労働行政等、多様な機関との連携のもとに実施され、とても活気のあるフォーラムとなりました。



▲ 会館から神田理事長も参加

女性のエンパワーメント国際フォーラム(読売・NVEC 女性アカデミア21)

会館が実施した国際比較調査をもとに、2月24日(土)、読売新聞社と共催で国際フォーラムが開催されました。

「産む・産まない 各国男女事情一次世代育成に関する国際調査から」のテーマのもと、猪口孝中央大学教授が自身の子育てに



▲ パネリストたち

についての体験を基調講演で語り、会館の中野洋恵研究国際室長が、会館で実施した「家庭教育に関する国際比較調査」(対象国 日本、韓国、タイ、アメリカ、フランス、スウェーデン)の概要を説明しました。その後、日本(牧野カツコお茶の水女子大学客員教授)、韓国(ホン・ソンアー韓国女性開発院研究員)、フランス(フレデリック・ルブラン自治体 家族政策課長)、アメリカ(ジョージア州立大学教授)の研究者が、それぞれの国における父親の家事・育児参加やワーク・ライフバランスの現状、家族政策などについて報告しました。

その後、各国の報告に基づくディスカッションでは、韓国における女性の社会進出と家事・育児負担の現状やフランスの出生率の高さの背景、またアメリカにおける理想の父親像の変遷などについて活発な議論が行われました。そして最後には猪口教授と、舩橋恵子静岡大学教授からパネルディスカッションについてのコメントをいただき、盛会のうちに本フォーラムを終了することができました。

※本フォーラムについての内容は下記ホームページより詳細がご確認いただけます。

http://job.yomiuri.co.jp/afterfive/jo_af_07030701.cfm

事業の実施報告

女子学生のキャリア教育・就活支援者セミナー



▲ 事例提供の様子

3月8日(木)から9日(金)の1泊2日で、「女子学生のキャリア教育・就活支援者セミナー」を実施しました。このセミナーは、大学・短大において女子学生のキャリア教育・就職支援に関わる教職員を対象としたもので、昨年3月に同様のセミナーを初めて実施し、9月に続いて3回目のセミナーとなりました。今回は、全国から54名の教職員の方々にご参加いただきました。

プログラムの1つである大学・短大の先進的な取り組みについての事例提供は、参加者の方々の関心が特に高く、「全学的に取り組むきめ細やかな支援体制」および「個々の学生のモチベーションを高める対応」の2つのテーマに関して、それぞれ2つの大学・短大の取り組みについて報告を行いました。また、セミナー両日ともグループディスカッションを行って、参加大学・短大の取り組みの現状・課題を整理し、現場に即した解決の糸口を協働で探りました。参加者からは、「他大学の情報を職場で活かしたい」「多くの情報交換・意見交換ができた」「職員と教員が話をするよい機会だった」等の声がありました。1日目夜には、ヴァイオリン・チェロのミニコンサートでリラックスした後、名刺交換会も行い、充実したセミナーとなりました。

ことばの基礎知識

政治への女性の参画

女性議員割合の国際比較

2007/1/31

	順位	総数	女性	女性割合
ルワンダ	1	80	39	48.8
スウェーデン	2	349	165	47.3
コスタリカ	3	57	22	38.6
フィンランド	4	200	76	38.0
ノルウェー	5	169	64	37.9
デンマーク	6	179	66	36.9
オランダ	7	150	55	36.7
キューバ	8	609	219	36.0
スペイン	8	350	126	36.0
アルゼンチン	9	257	90	35.0
モザンビーク	10	250	87	34.8
⋮	⋮			
日本	99	480	45	9.4

出所：International Parliamentary Union
(列国議員連盟)ホームページより作成

男女共同参画基本計画の施策の基本的方向と具体的施策の最初にあげられているのが「政策・方針決定過程への女性の参画の拡大」です。男女共同参画の国際比較のときにしばしば引用されるジェンダー・エンパワーメント指数(GEM)の順位の低さから日本では女性の政策・方針決定過程への参画状況の不十分さが指摘されています。この中で政治への参画という部分に焦点をあててみましょう。政治への参画を国際比較するときに使われる代表的な指標は国会(二院制の場合は下院、日本では衆議院に相当する)における女性議席占有率です。列国議員連盟がホームページ上(<http://www.ipu.org>)でデータを公開していますのでそれを見ますと日本は99位になっています。しかしこの順位のつけ方では同順位の国が複数ある場合が考慮されていません。具体的にいうと表にあるように8位がキューバとスペインの二国ですが、次のアルゼンチンは9位になっています(10位ではなく)。日本は順位としては99位なのですが、日本より女性議席占有率の割合の高い国を数え直すと140か国ありました。対象国は199か国でしたから後ろから数えたほうがずっと早い順位に位置していることがわかります。

参議院は14.5%と衆議院よりは高くなっていますが北京行動綱領でうたわれた目標値の30%には程遠い状況です。また地方議会は増加の傾向にはありますが、特別区議会21.8%を占めるものの、都道府県議会7.2%、市議会10.6%、町村議会6.4%と低い数字にとどまっています。女性の参画が期待されます。

調査研究・事業報告・資料の作成

ブックレット5「夢をかたちにした女性たち」刊行

このたび、又エック・ブックレット5『夢をかたちにした女性たち 将来のキャリアを考えたいあなたへ』（国立女性教育会館編、朝陽会）が刊行されました。会社員や起業家、理工系研究員など、さまざまな分野で働く20代～40代の女性へのインタビューをまとめたブックレットです。高校生や大学生をはじめ、若い女性のためのキャリア教育／キャリア支援のテキストとしてご利用ください。定価500円（税込み）、全国書店にてお買い求めいただけます。お申し込みは(株)朝陽会（TEL03-3913-5526代、FAX03-3913-5530）、まで。



情報ネットワーク

「女性のキャリア形成支援サイト」に「理工系にかかわる仕事・活動」キャリア形成事例を公開

このたび、理工系の分野で活躍している20名の方のキャリア形成事例を追加しました。これは文部科学省の平成18年度「女子中高生理系進路選択支援事業」を受けて実施したものです。女性の少ない分野で、どのようにキャリアを形成してこられたのか、<http://winet.nwec.jp/career/>より、ぜひご覧ください。



「女性情報レファレンス事例集」に15事例を追加しました

女性関連施設の情報担当者が、日々の業務で出会う質問に対してどう情報源を調べ、どのような情報を提供するか、Q&Aの形でまとめたものが「女性情報レファレンス事例集」です。このたび全国のサポートメンバーのお力を借りて、「職場でセクハラ防止の研修をするのですが、どんなビデオがありますか。」など新たに15事例を追加しました。<http://winet.nwec.jp/tictconsult/>より、ぜひご覧ください。

話題になりました

○会館に関する事がマスコミ等に取り上げられたものを紹介します（1月～3月）

●埼玉新聞 1/15 神田理事長随筆『月曜放談』（月1回程度で、6回シリーズの2回目）

男女共同参画社会でもっとも基礎にある理念は「個の尊重」で、一人ひとりが自立し、それぞれの能力を開発・発揮して、社会づくりに単に参加するだけでなく、方針や計画づくりにまで参画すること。さらに「個の尊重」が、これまで自分だけの尊重になりがちであったが、自分とともに他の人をも尊重する「自他の尊重」に基づく人間関係こそが重要であると。

●下野新聞 2/21

日本、韓国、タイ、アメリカ、フランス、スウェーデンの12歳までの子どもを持つ親を対象に会館が実施した「家庭教育に関する国際比較調査」引用の記事で、日本の父親は平日「子どもと過ごす時間が短いのが悩み」と。栃木県女性青少年課が執筆。

●埼玉新聞 2/26 神田理事長随筆『月曜放談』（月1回程度で、6回シリーズの3回目）

2月2日に実施された「さいたま輝き荻野吟子賞」授賞式の様子を紹介。審査に参加して思うことは、埼玉県には先駆的な生き方、活動をしている人や団体等が多いにもかかわらず、あまり知られていないという。荻野吟子賞はこうした生き方や活動に光をあて、一般に知ってもらう機会としても大きな意味を持っていると。

●読売新聞 3/7

先進国の中でも日本の出生率が低いのはなぜ——。2月24日に会館と読売新聞の共催で実施された「読売・NWEC 女性アカデミア21」～産む・産まない 各国男女事情～と題し、会館が実施した「家庭教育に関する国際比較調査」結果をもとにパネルディスカッションの様子やパネリストの発言を掲載。

お知らせ

工事日程延長 のお知らせ

お知らせしております大会議室、調理室、試食室の改修工事について都合により当分の間延長させていただきます。皆様には大変なご不便・ご迷惑をお掛けいたします。詳細については、お問い合わせください。

● 寄附金のお願い

ヌエックではより充実した業務遂行のための経費に充てるため、寄附金を含む外部資金を受け入れております。今後とも事業の充実、運営の改善及びサービスの向上に努めてまいります。皆様方の暖かいお篤志を賜りますよう、なにとぞよろしくお願い致します。

◎寄附金に対する問合せは総務課へ

一定の金額までの寄附金については、法人及び個人の場合ともに税法の規定により所得から控除されます。

● 利用案内

※ 休館日（平成19年5月～20年5月）

5月 7日(月)・21日(月)	9月 3日(月)・18日(火)	1月 1日(火)～ 4日(金)・21日(月)・22日(火)
6月 4日(月)・18日(月)	10月 1日(月)・15日(月)	2月 4日(月)・ 5日(火)・18日(月)
7月 2日(月)	11月 5日(月)・19日(月)	3月 3日(月)
8月 休館日はありません	12月 3日(月)・17日(月)・18日(火)・28日(金)～31日(月)	4月 休館日はありません
		5月 12日(月)・19日(月)

注) ①休館日前日の宿泊と当日の朝食はご利用いただけます。

②休館日も電話・FAX・E-mailによる申込の受付や利用相談などは行っています。

③会館ホームページではいつでも施設の空き状況等がご覧になれます。

申込専用電話：0493-62-6723 ファクス：0493-62-6720 ホームページ：<http://www.nwec.jp/>

● 主な利用団体（平成19年1月～3月）

1月

6日～ 8日	日本カウンセリング学会
7日	嵐山町教育委員会
13日・14日	県立嵐山史跡の博物館
19日～21日	日本アノレキシア・プレミア協会
21日	社団法人嵐山町シルバー人材センター
	社団法人国際女性教育振興会埼玉支部
27日	全埼玉私立幼稚園連合会
27日～28日	新潟市陸上競技協会
30日	桶川市男女共同参画セミナー

2月

1日～ 2日	社団法人東京都社会福祉協議会児童部会
3日	埼玉県バレーボールスポーツ指導者協議会
3日～ 4日	財団法人埼玉県体育協会
4日	社団法人日本家政学会食文化研究部会
6日～ 9日	社団法人国際交流サービス協会
6日～10日	財団法人日本国際協力センター
10日～11日	農林水産省構造改善課女性経営者勉強会
10日～12日	財団法人日本エスベラント学会

15日～16日

16日～17日	内閣府男女共同参画局
16日～18日	JNATIP（人身売買禁止ネットワーク）
17日～18日	WELL女性言語教育学会
21日～25日	東京都女性海外視察団の会
22日	社団法人中央青少年団体連絡協議会
23日	小川地方学校警察連絡協議会
23日～24日	埼玉県教育局西部教育事務所
23日～25日	長野県須坂市連合婦人会
26日	東京成徳短期大学サッカー・フットサルサークル
	埼玉県人権保育研究会

3月

1日～ 3日	文部科学省男女共同参画学習課
2日～ 3日	全国友の会
3日～ 4日	埼玉県学童保育連絡協議会
11日	嵐山音楽連盟
12日～13日	日本アグロ
17日	滑川町民生・児童委員協議会
22日～23日	山村学園短期大学
28日～30日	埼玉県立松山女子高等学校

● 展示コーナー（4月～6月）

「リーダーへのチャレンジ」

「男女共同参画基本計画（第2次）」（平成17年12月）において「社会のあらゆる分野において指導的地位に女性が占める割合が2020年までに少なくとも30%程度になるよう期待し…」との目標が出されました。目標達成には何が必要かをさぐる資料を、1階エントランスホールに展示中ですので、是非ご覧ください。

※展示資料例 「女性のチャレンジ支援・リーダー育成に向けての提言：男女共同参画小委員会調査報告」
「実践リーダーをめざすひとの仕事術」
「地域リーダー力：女性リーダーの育ち方・育て方」

※展示のリストはホームページに掲載しています。<http://www.nwec.jp/jp/center/page05.html>



編集後記

- 平成19年度に会館で実施する事業計画を掲載しました。参加者を募集する事業も多くあります。たくさんの方々にご参加いただきたいと思います。
- 会館では今年度開館30周年を迎えました。この間ご利用いただいた方は延べ300万人を越え、海外からも163か国および2万人の方々にも国際会議や交流等でご来館いただきました。
- 会館近くの小学校でも真新しいランドセルを背負った新一年生が上級生と一緒に集団登校しています。春は出会いと別れの季節、それぞれの人生に幸多かれと祈ります。

ヌエックニュース第117号

平成19年4月25日発行

編集発行 国立女性教育会館

〒355-0292 埼玉県比企郡嵐山町菅谷728

☎0493-62-6711（代表）

FAX.62-6722（総務課） 62-6720（事業課）
62-6721（情報課） 62-9034（研究国際室）

ホームページURL <http://www.nwec.jp/>
E-mail webmaster@nwec.jp